

『Duchenne 型筋ジストロフィーに合併した 悪性腫瘍に関する研究』についての お知らせ

1. 実施目的について

近年、呼吸管理や心筋保護治療の進歩により Duchenne 型筋ジストロフィー(DMD)の生命予後は著しく改善しました。それに伴って、これまでには合併のみられなかった中年期以降に発症することの多い悪性腫瘍が合併する例がみられるようになりました。しかし、これまで頻度が低く、十分に検討がされていないため、今回、当院に入院中の DMD 患者において過去の診療録から、悪性腫瘍を合併した患者さまの過去の治療録を調べることで、今後の対策をたてたいと考えています。

2. 実施内容について

方法は、2010年1月から2016年3月末までの期間に、当院に入院中の Duchenne 型筋ジストロフィーの患者さまのうち、悪性腫瘍を合併された方のカルテをしらべ、その方のもともとの病気の状態や悪性腫瘍の発症部位、年齢、症状、おこなった検査や治療、その後の経過についてまとめ、その傾向を検討します。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は、これより平成 2017 年 3 月末までです。

3. 研究代表者

脇坂 晃子（医王病院 小児科 医師）

4. 調査対象期間

2010年1月1日から2016年3月31日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。この研究により、個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように、個人情報やプライバシーを保護した状態であっても、調査対象となることを拒否される場合、また、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院

小児科 脇坂晃子

国立病院機構 医王病院病院長

駒井清暢